

経営比較分析表

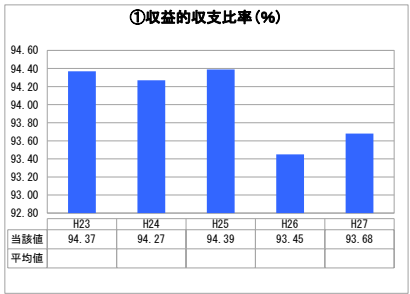
北海道 長万部町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	72.71	56.43	3.150

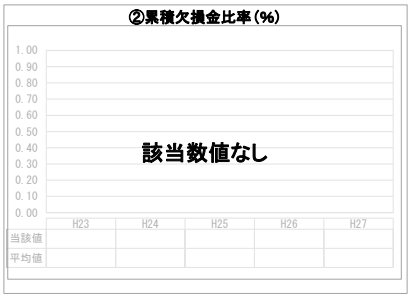
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,913	310.76	19.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,025	2.70	1,490.74

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



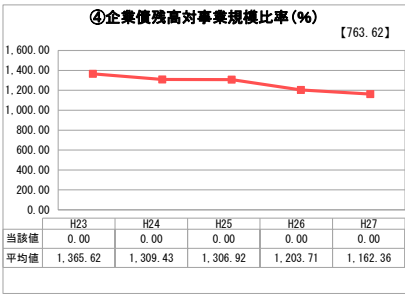
「単年度の収支」



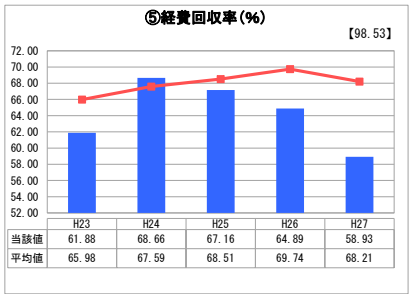
「累積欠損」



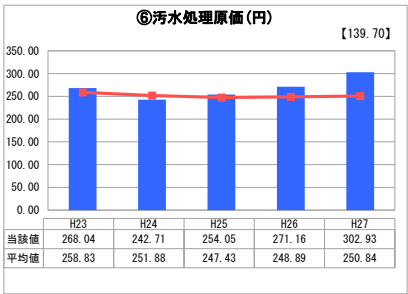
「支払能力」



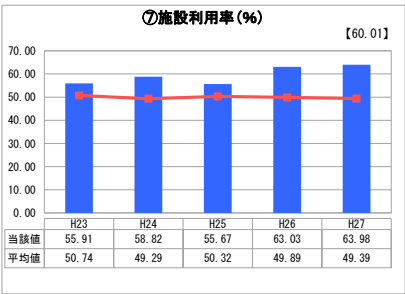
「債務残高」



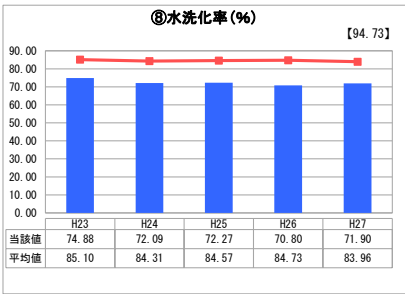
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

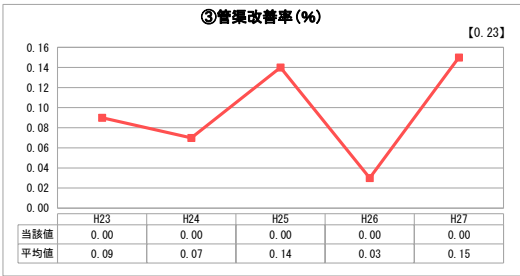
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比較について
100%未満ではあるが、94%前後で推移している。地方債償還金は増加傾向にあるが、大きな変動もなく推移している。

⑤経費回収率
平成25年度からは類似団体平均値を下回っており、汚水処理費が増加傾向にあるため、経費の節減を図っていかねばならない。

⑥汚水処理原価
平成25年度からは類似団体平均値を上回っており、汚水処理費の増加、年間有収水量の減少が原因であるため、汚水処理費の節減さらには、年間有収水量を増加させるため、接続率の向上に努めなければならない。

⑦施設利用率
処理能力が多くないため、類似団体平均値を上回っていると思われる。

⑧水洗化率
水洗便所設置済人口も処理区域内人口も減少しているが、横ばい状態となっている。

2. 老朽化の状況について

供給開始後約24年経過しているが管渠については未だ耐用年数を経過していないため、老朽化は進んでいない。

しかし、今後は徐々に老朽化が進んでいくため、計画的な更新を検討する必要がある。

全体総括

現状は、使用料のほかに繰入金等による事業運営がされている状況である。また、今後は人口減少に伴い、使用料収入の減少が考えられ、経費回収が難しくなっていくことが予想される。より健全な経営を行うためにも経費の節減、効率的な設備更新に努める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。